

部局名	教育委員会	所属名	給食センター	所属長名	吉田 浩二	電 話	482-1650
-----	-------	-----	--------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3503		事務事業名称	給食センター業務事業						短縮コード	経常	3503	臨時	3504
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	学校給食費		
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等		学校給食法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
昭和45年度から開始。児童・生徒の心身の健全な発達に資する為。 市立小・中学校の児童生徒が食する安定した給食について所要栄養量を満たす献立作成作業・食材料の購入を行うことにより心身の健全な発達と基礎体力の向上を目的としたバランスの取れた給食を提供。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
児童・生徒の増加。衛生基準の高度化。食嗜好の多様化。食物アレルギーへの対応が必至。						大項目（節）	01	学校教育						
						中 項 目	02	義務教育						
						小項目（施策）	03	健康・安全の確保						
						細 項 目	04	学校給食の充実						
					実 施 計 画 の 計 画 事 業									
計画事業の位置付けの有無				<input type="checkbox"/>	計 画 事 業 期 間		平成20年4月 ～ 平成22年3月		計 画 事 業 費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市立小・中学校の児童・生徒(単独給食校除く)									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： 所要栄養量を満たす献立の作成による児童・生徒への給食供給。 高津調理場・村上第二調理場・村上調理場の調理業務委託継続。 保健体育課「高津調理場移設改修事業」のPFI方式事前導入協議参加、決定される。									
	※平成23年度に計画していること： 所要栄養量を満たす献立の作成。 高津調理場・村上第二調理場・村上調理場の調理業務委託継続。 PFI方式により実施の保健体育課「高津調理場移設改修事業」の推進に他の関係課と共に協議参加。									
意図 （何を狙っているのか）	心身の健全な発達。安全で栄養バランスのとれた給食の提供。給食を教材とした食に関する指導の実施。提供した給食の摂取量の向上。									
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外									
区 分					単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標 1	児童・生徒数	人	13, 863	14, 400	14, 414	14, 720			
	指標 2									
	指標 3									
活動指標	指標 1	年間延給食数	食	2, 504, 908	2, 620, 000	2, 538, 829	2, 593, 000			
	指標 2									
	指標 3									
成果指標	指標 1	給食残渣の量(1人・1食あたり)	g	61	46	41	35			
	指標 2									
	指標 3									
上位成果指標	指標 1									
	指標 2									
	指標 3									

コード		3503	事務事業名称	給食センター業務事業			所属名	給食センター
			単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0		0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	306, 213	314, 929	321, 688	313, 580	
		その他	千円	93	40	39	34	
	主な事業費の内訳			報酬・賃金 3, 786 消耗品 7, 880 燃料費 13, 741 委託料 238, 746	報酬・賃金 3, 816 消耗品 6, 863 燃料費 13, 740 委託料 245, 728	報酬・賃金 3, 798 消耗品 6, 682 燃料費 16, 024 委託料 245, 678	報酬・賃金 3, 929 消耗品 6, 987 燃料費 14, 736 委託料 246, 109	
	人件費 (B)			千円	33, 220. 5	32, 808. 5	33, 633. 1	
トータルコスト (A) + (B)			千円	339, 526. 5	347, 777. 5	355, 360. 1	347, 247. 1	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由					
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている		給食センター業務事業の再検討による事業推進実施により調理業務の安全衛生管理の充実が図られ，食育・健康・安全の確保がなされる。					
			<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある							
			<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない							
			<input type="checkbox"/> 評価対象外事項							
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		<input type="checkbox"/> 達成している		施設の老朽化等により求められる衛生と労働安全の充実を図るべく給食センター再配置の協議検討を実施し，児童生徒の食育・健康・安全の改善を推し進めていく。					
			<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない							
			<input type="checkbox"/> 評価対象外事項							
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		<input type="checkbox"/> 可能性はある		学校給食法・保健衛生等から事務事業の民営化はなじまない。					
			<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない							
			<input type="checkbox"/> 評価対象外事項							
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい		現状の対象と意図で結果に結びつくことが出来る。						
		<input type="checkbox"/> 見直す必要がある								
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項								
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある		現在，児童の望ましい食習慣の育成や健康の増進，安全で良質な食品を使用した給食の提供に努めており，その有効性や効率性の向上についても努力してきている。これ以上の効率性を追求すると事業の本来の目的が達成できなくなってしまうため。					
			<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある							
			<input type="checkbox"/> 両方可能性はある							
			<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない							
		⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		<input type="checkbox"/> 民間委託等						
				<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用						
				<input type="checkbox"/> I T 化等の業務プロセスの見直し						
				<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し						
				<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し						
				<input type="checkbox"/> 上記以外の方法						
		⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		<input type="checkbox"/> ある						
	<input type="checkbox"/> ない									

コード	3503	事務事業名称	給食センター業務事業				所属名	給食センター
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続			調理食の安全等品質を維持し、継続的に学校へ提供している現行の給食業務は、現在のセンターの能力を考慮すると妥当であると思われる。			
		<input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善						
		<input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小						
		<input type="checkbox"/> 統合・役割見直し						
	<input type="checkbox"/> その他							
<input type="checkbox"/> 廃止・休止								
<input type="checkbox"/> 事業完了								
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			施設・設備の老朽化に伴う修繕が増えることが予想され、これ以外でコストの削減を図っても経費の削減は難しい。成果については、現行の運営方法によれば変動は生じないと思われる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			不 変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
アレルギー物質除去食の配食及び自校方式への要望がある。									

所属長コメント	民間活力導入により合理的な運営管理を継続しながら給食事業を指示管理し、関係課との協議による給食センターの再配置によって施設設備改修移転事業を開始し合理的な事業運営を実施する。								
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	<input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善								
	<input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小								
	<input type="checkbox"/> 統合・役割見直し								
	<input type="checkbox"/> その他								
<input type="checkbox"/> 廃止・休止									
<input type="checkbox"/> 事業完了									
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続									